



トマトを作り始めて今年で4年目

僕はトマト農家



澁沢 章典



〔前号の益永鉄平さんから、バトンタッチ〕

僕はトマト農家です。

前職はイタリアンレストランで料理を作っていました。もともと実家は胡瓜農家で、それまで家業を継いでほしいと言われたこともなく、自分の好きなことをやらせてもらっていましたが、5年前父の体の調子が悪くなることがあり、それがきっかけで農業を手伝い始めました。

はじめは、自分が入ることで少しでも両親が楽になればと思っていたのですが、気がつけば、胡瓜をやる傍ら庭先ではじめたトマト作りに夢中になり、毎年胡瓜のない時期にトマト用のハウスを建て増し、この3年間、逆に親からすれば気も体も休まらなかったようで、少し申し訳なく思っています。

いつもあたりまえのように助けくれる家族にはなかなか言葉で伝えることはできませんが、本当に感謝しています。

2年前から、僕はトマトに本腰を入れ、直売所もはじめました。おいしいトマトを作って喜んでもらいたい。それは、料理人だったころと一緒に。妻も同じで、職種は変わってもお客さんとのふれあいを楽しめる仕事をしたいと言っていました。

そうして始めた直売所なのですが、予算がなく、ビニールハウスにのぼり旗を2、3本立てただけの直売所に、いったいどれだけのお客さんが来てくれるのだろうと不安もありました。営業している期間は1月から6月と限られていますが、2年たった今、たくさんのお客さんと知り合うことができました。もちろん、天候によって収穫も来客もさまざまで、今年は特に地震の影響が少なからずありました。うちだけではありませんが、続けていくのが厳

しい状況に、気持ちが負けそうになっているなか、成長していくトマトやお客さんに励まされ、こんなときこそ食べて元気になれる野菜を作っていかなければと考えさせられました。



オクラの手入れ中

妻の実家は岩手県にあり、震災後宅配便が回復して間もなくトマトを送ると、義母から「トマトの赤い色を見たら元気になった」と言われたとき、すごくうれしくなりました。

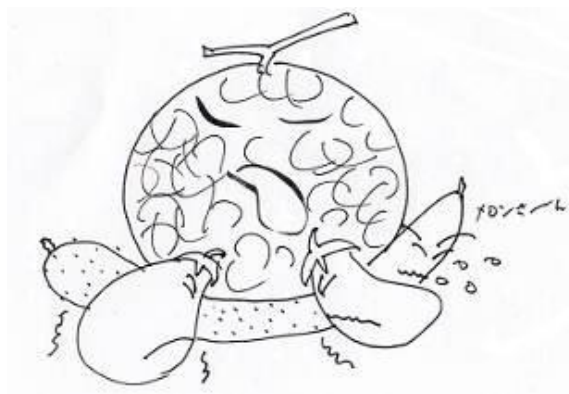
食は大切に簡単にすることもできるけど、だからこそ、その基本に携わっている者として、真面目に愛情をもってやっていきたいと思えます。

また、自分が生まれ育った土地で安全でおいしいものを作り、地元を盛り上げていきたいという気持ちもあります。

毎年、トマトは数種類、群馬県の育成品種の「甘しづく」をメインにミニトマトや黄色のトマトなどを作っています。時期によっては、トウモロコシ

やオクラ、メロンなども作って、販売を予定しています。

トマトをはじめて今年で4年目、正直まだまだです。おいしいトマトを安定して収穫するのは難しく、課題ばかりがみえてきますが、また来年、より多くの人に喜んでもらえるよう、ありきたりな言葉ですが、がんばろうと思います。



収穫が楽しみ

**シブサワズベジタブル**  
〒379-2104 前橋市西大室町 743  
お問合せ・ご予約 080-1359-8501  
販売予定期間（主にトマト）  
1月～6月 木曜定休  
営業時間 13:00～